

「生活習慣病患者」が増加中

糖 尿 病
高 血 圧
脂 質 異 常 症
の重症化を防ぐ



積丹町健康づくり
イメージキャラクター
ソーランわんぱくくん

健康に関わる様々な統計が「見える化」され、全国の市町村で比較できる仕組みができています。そこで、他市町村と比較したことで見えてきた、当町の特徴的な健康状態や課題を紹介します。

図1 標準化死亡比 (SMR)

	積丹町	同規模町村	北海道	全国
男 性	112.5	102.6	101	100
女 性	125.7	98.2	97.6	100

高齢化による影響を除いた死亡率で、全国値100が基準です。当町はこの値が高く、高齢化以外の要因で亡くなる方が多いと推測できます。

図2 疾患別死亡率 (生活習慣病)

	積丹町	同規模町村	北海道	全国
が ん	48.4%	44.3%	51.6%	49.6%
心疾患	38.7%	29.6%	25.9%	26.5%
脳血管疾患	9.7%	17.9%	13.5%	15.4%
糖尿病	0.0%	1.8%	1.8%	1.8%
腎不全	0.0%	3.6%	4.2%	3.3%

当町は「脳血管疾患」で亡くなる方は少ないですが、「心疾患」で亡くなる方が多いと推測できます。

※統計は全て国保データベース (KDB) システムから、平成28年度の情報を引用。75歳未満の国民健康保険の方の統計です。

図3 新規患者数 (生活習慣病)

	積丹町	同規模町村
糖尿病	11.2人	7.4人
高血圧	16.8人	7.7人
脂質異常症	12.3人	5.5人

図4 新規患者数 (重症化疾患)

	積丹町	同規模町村
虚血性心疾患	0人	1.9人
脳血管疾患	3.4人	1.7人
糖尿病性腎症	0人	0.3人



生活習慣病全体と脳血管疾患の新規患者数がかなり多い傾向です。当町は毎年「新規患者数」が高く、生活習慣病とそれらが重症化した疾患を発症する人が多い地域と推測できます。

図5 介護保険認定率・1件あたりの給付費

	積丹町	同規模町村	北海道	全国
1号認定	20.5%	20.0%	23.0%	21.2%
2号認定	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%
介護給付費	87,036円	73,702円	57,953円	58,349円

1件あたりの給付費が高く、多くの介護サービスが必要となる方が多いと推測されます。脳血管疾患は後遺症が残るため、介護を受けていると推測できます。

図6 メタボリックシンドローム該当率

	積丹町	同規模町村	北海道	全国
全 数	21.3%	18.9%	16.6%	17.3%
男 性	36.4%	27.9%	27.5%	27.5%
女 性	12.6%	10.8%	8.8%	9.5%

同規模町村等と比較し該当者が多く、傾向としてエネルギー代謝のバランスを崩しやすい生活背景があると推測できます。

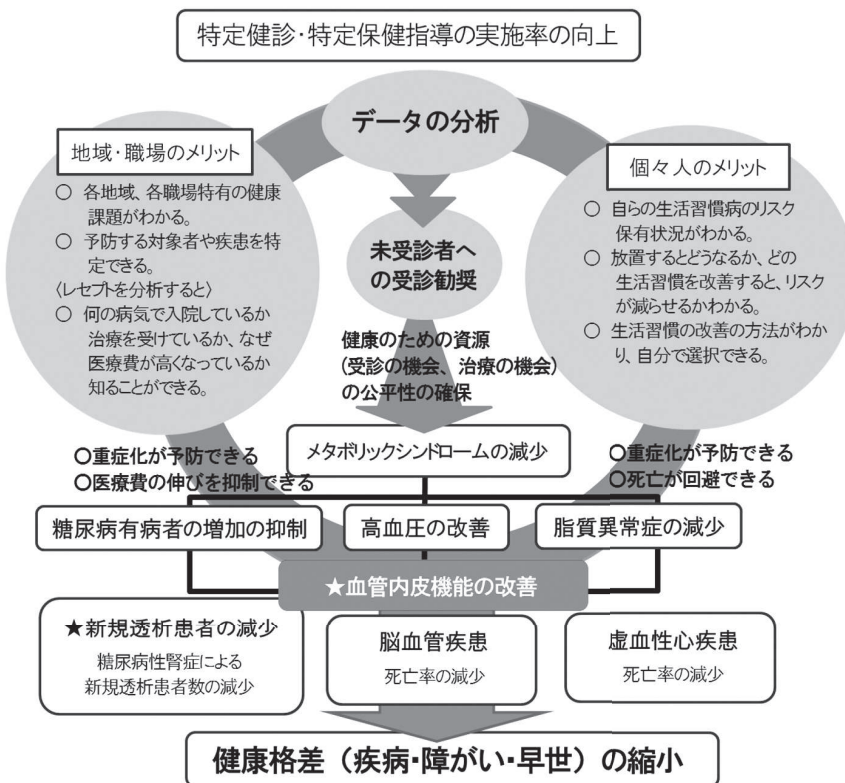
図7 特定健診受診率 (順位は全国同規模町村 233 中)

積丹町 (順位)	同規模町村	北海道	全国
25.4% (204)	46.0%	25.1%	34.0%

この統計を見て、皆さんはどこに注目されましたか？
一番注目していただいたのは、「図4新規患者数 (重症化疾患)」です。
この統計から、当町は心疾患で亡くなる方が多いことや脳血管疾患を発症し、介護が必要な方がいることがわかりました。
これらの疾患は、生活習慣病の重症化により発症するもので、人間の血管が正常な機能を維持するためには、日々の保健活動は「これらを発症する方を少なくしたい」という目標から行われています。
当町は第1次産業が基幹の町です。自然環境の動きに合わせて生活するため、人間が本来持っている自律神経のリズムに合わせられず、不規則になりがちなようです。一般的な社会人と比較して、身体に無理がかかりやすい生活背景が町民にあることも統計に表れています。
特徴的な生活背景の中でも、

更に、図6よりメタボリックシンドロームの方が多くも分かります。内臓脂肪の面積が多いと、血圧・血糖・脂質の数値を悪くすることが明らかになっています。医師が薬を出すのは、これらの数値が高いままで重症化が進むことを防ぐため、適切な数値になるようコントロールするためです。しかし、当町の特定健診受診率は、図7のとおりかなり低く、自分自身の数値がわからないまま過ごしている方が多いのが現状です。
重症化しなければ、心疾患で亡くなることも脳血管疾患で後遺症が残ることもありません。日々の保健活動は「これらを発症する方を少なくしたい」という目標から行われています。

図8 標準的な特定健診・保険指導プログラムより（厚生労働省）



町民がこれからも元気な日常生活を維持し、より健康な生活方法が選択できるよう、皆さんと一緒に考えていきます。

そのためには、皆さんに特定健診を受診してもらい、自覚症状だけでは見えない身体の状態を、ぜひ知っていただきたいと思っています。

特定健診・特定保健指導は重症化予防に効果

「町の健診を受けたら、保健師が家に来て、健診結果を説明していった。」という経験のある方がいると思います。それが特定健診・特定保健指導です。

この制度が開始された平成20年度から今までの実績を国が分析した結果、特定健診・特定保健

指導を受けた方は、受けていない方と比べ、数値が改善していることが分かりました。

つまり、病院にかかっていても、特定健診を行うことが重症化予防に効果的と示されたのです。定期通院と健診では、検査

できる項目が違うので、定期通院している方が健診を受けたら、医師は結果を診察の資料として大事にしています。

「保険者努力支援制度」が始まります

国保税の負担に影響も

平成30年度からは「保険者努力支援制度」が行われます。これは、効果的な保健事業を行い、その成果が顕著な保険者（町）に交付金を交付するものです。

重症化予防となる特定健診・特定保健指導をはじめ、これらの保健事業を後押しする事業の実績に点数が付けれられ、合計点数に応じて交付金の額が加算されます。

つまり、特定健診受診率が高いなど「効果的な保健事業を行い成果が出ている」市町村は点数が高くなり、合計点数が高い

ほど、交付金が増額されるため、町の財政負担や、皆さんが納めている国保税の負担軽減にもつながります。それだけ、特定健診・特定保健指導などの保健事業は、国からの期待が高いと言えます。

「データヘルス計画」策定

統計データから自分の市町村の健康状態を分析し、地域の特徴に合わせた健康づくりを目指するため「保健事業実施計画（通称・データヘルス計画）」を策定し、保健事業を行うことが求められました。町では、平成28年に第1期データヘルス計画を策定し、現在は第2期の策定に向け、各統計の分析結果をまとめていくところです。

当町は、他市町村と比較すると医療費が高く、その理由としては、生活習慣病とその重症化疾患の発症が多いこと、それらを予防・早期発見するための特定健診受診率が低いことが挙げられます。

まずは、特定健診の受診率向上を目指し、健診の受診により



お得な特典がある「ワンポイント事業」や「はつらつウォーキング事業」を行っています。

また、受診した方には、数値の持つ意味や身体で起こっていることなど、丁寧な保健・栄養指導を行い、皆さんが自分らしい生活の続けながら、健康を守るための支援を行います。

データヘルス計画は町民の皆さんにも公開することになっていきます。「町の健康施策」などについて、ぜひ皆さんに知っていただくため、第2期策定後は町のホームページから閲覧できるように準備を進めていきます。

有毒ガス発生に備えて

北後志消防組合積丹支署（俵谷支署長・署員17名）は、11月13日、有毒ガスである硫化水素が発生した際に迅速に対応するため有毒ガス対応訓練を行いました。



1

訓練では、化学防護服の着用や資器材の取り扱い、硫化水素が発生した際の対応と硫化水素についての知識を学びました。化学防護服の着用では、人手や時間が掛かるため、連携力の強化や継続した訓練が必要なこと、硫化水素が発生した際の混合液の処理方法や濃



2

度測定の手順を確認しました。同支署では、様々な災害を想定した訓練を行い、安全・確実・迅速に対応できるように訓練を行っています。



3

1. 化学防護服着用訓練
2. ガス検知訓練
3. 要救助者除染確認

安全・安心なまちづくりにつなぐ

積丹婦人防火クラブ連合会（山崎美枝子会長・会員409名）は、10月29日、防災意識の向上を図るため、札幌市内で視察研修を行いました。

婦人防火クラブは、家庭での火災予防知識の習得、地域全体の防火意識の高揚などを目的にし、町内7地区の婦人防火クラブが積極的に活動しています。

今回の研修では、札幌市の大型施設や企業の防災設備を視察し、防災に関する知識を



▲積丹婦人防火クラブ連合会「視察研修」



▲美国婦人防火クラブ「声かけ運動」

得たほか、今後の啓発活動等に役立つものとなりました。

また11月13日には、美国婦人防火クラブが美国町内に住む75歳以上の一人暮らし家庭を訪問し、防火・防災に関する声かけ運動を行いました。

この運動で、火災等を未然に防ぐため、居住者の体調や家庭の危険な箇所を確認することができました。婦人防火クラブでは、今後も火災予防等の啓発活動を行っています。